

2014 年 7 月 9 日
株式会社らいふ
代表取締役 吉田 伸一

Communication on Progress 2013

グローバル・コンパクト 10 原則への取り組み

当社は、食・環境の衛生コンサルティング事業及び高齢者介護サービス事業を日本国内で営む会社です。2004 年にグローバル・コンパクトに参加して以来、その 10 原則への継続的な支持を表明してきました。グローバル・コンパクト 10 原則への取り組みをご報告させていただきます。

1. 人権

(1) 介護職の処遇改善

日本国内では、介護職の処遇が問題となっております。

当社は、今年度も利益還元を行い、介護職の入社初年度年俸を 390 万円に引き上げました。日本の介護業界ではトップクラスの賃金を達成しその社会的地位を高めることに努めております。

(2) 「生きる力」を引き出す介護

当社は、高齢者施設に入居する高齢者の「生きがい、やりがい」を引き出すことを目指し、お一人お一人の今までの人生経験をお伺いし、施設に入ることですべて諦めてしまったことを、諦めずに実行できる介護を実行しています。

私どもが創業以来実践しております、「生きる力」を引き出す介護サービスが、地域の方々から評価をいただき、入居率 98%以上の実績で運営を実践しております。

2. 労働

(1) 高齢者の就業支援

当社は、定年後に自宅に引きこもりがちな、健康な高齢者の方々に、今までの

経験を活かし、地域の発展の為に役割を持っていただこうと、パワフルスタッフ制度を創設しました。

このパワフルスタッフ制度は、主に 65 歳以上の方々を雇用し、当社の高齢者施設において、入居者の「見守り」「話し相手」「生活の補助」を実行して頂いております。

この制度により、「久しぶりに役割を持って、生きがいのある生活が送れている」、「入居者の方々から、次はいつ来るの？と聞かれて、期待されることの喜びを、この年になってまた感じる事ができ、感激している」という感想を頂いております。

この制度を更に発展した制度も、今後導入する予定であり、今後益々増加する高齢者の方々の、働きがいを創設して参ります。

（２）女性社員の活用

現在、社員の 78%が女性であり、当社にとって女性が仕事をし続けられる環境作りは、会社存続の必須の重要事項となっております。

産前産後・育児・介護休暇の適用や復職後の仕事・育児の両立支援を推奨しております。

また、介護のため退職を余儀なくされる女性社員が存在することを重く受け止め、近親者の当社介護施設への入居に関しては、特別な割引制度を創設し、退職を食い止めております。

3. 環境

（１）放射線問題への継続的対応

当社業務である食と環境に関し、2011 年 3 月より、福島原発事故を受け、放射線測定を開始しております。現在、福島県からの委託により、福島県内の空間線量率検査を定期的に実施しております。

また、福島県の農産物の安全度を示す試みとして、地元の果樹園の方々と協力して、土、樹木、果物、空気の放射線量測定を実施。安全性を保証することで、風評被害打破のため、地元農家の方々と協力体制を構築しております。

（２）エコ活動

職場環境では、節電・節水、紙の使用量の削減を継続的に行っております。

この活動は、来年度も引き続き活動を継続してまいります。

4. 腐敗防止

（１）強要と贈収賄防止

当社は、強要と贈収賄を防止するため、日本国内では習慣化されている中元・歳暮・接待を含め、業者、利用者及びそのご家族からの頂きものを一切お断りしております。この活動は、創業以来継続しており、当社の社風として根付いております。

以上のようにグローバル・コンパクトの原則に則った経営を行っていることをご報告致します。